

諮問庁：防衛大臣

諮問日：令和7年1月9日（令和7年（行情）諮問第23号ないし同第25号）

答申日：令和7年12月26日（令和7年度（行情）答申第774号ないし同第776号）

事件名：ロシア軍の編成・装備・作戦・戦闘に関して行政文書ファイルにつづられた文書のうち特定期間に作成された文書の一部開示決定に関する件

ロシア軍の編成・装備・作戦・戦闘に関して行政文書ファイルにつづられた文書のうち特定の開示決定等で残りの部分とされた文書等の一部開示決定に関する件

ロシア軍の編成・装備・作戦・戦闘に関して行政文書ファイルにつづられた文書のうち特定の開示決定等で残りの部分とされた文書等の一部開示決定に関する件

答 申 書

第1 審査会の結論

別紙の1に掲げる各文書（以下、順に「本件請求文書1」ないし「本件請求文書3」といい、併せて「本件請求文書」という。）の各開示請求に対し、別紙の2に掲げる各文書（以下、順に「文書1」ないし「文書50」といい、併せて「本件対象文書」という。）を特定し、その一部を不開示とした各決定は、妥当である。

第2 審査請求人の主張の要旨

1 審査請求の趣旨

行政機関の保有する情報の公開に関する法律（以下「法」という。）3条の規定に基づく各開示請求に対し、令和6年5月27日付け防官文第12464号、同年8月2日付け同第17866号並びに同年10月11日付け同第23283号、同第23284号及び同第23296号により防衛大臣（以下「処分庁」又は「諮問庁」という。）が行った各一部開示決定（以下、順に「原処分1」ないし「原処分5」といい、併せて「原処分」という。）について、その取消しを求める。

2 審査請求の理由

審査請求人の主張する審査請求の理由は、各審査請求書によると、おおむね以下のとおりである。

（1）審査請求書1（原処分1について）

ア ないしエ （略）

オ 一部に対する不開示決定の取消し。

記録された内容を精査し、支障が生じない部分については開示すべきである。

カないしケ (略)

(2) 審査請求書 2 (原処分 2 について)

アないしエ (略)

オ 上記 (1) オと同旨。

カないしク (略)

(3) 審査請求書 3 (原処分 3 ないし原処分 5 について)

アないしエ (略)

オ 上記 (1) オと同旨。

カ及びキ (略)

ク 他に文書がないか確認を求める。

審査請求人には確認する手段がないので、他に文書がないか念のため確認を求める。

ケ (略)

第 3 諮問庁の説明の要旨

1 経緯

(1) 原処分 1 及び原処分 3 について

本件開示請求は、本件請求文書 1 の開示を求めるものであり、これに該当する行政文書として、文書 1 ないし文書 1 4 を特定した。

本件開示請求については、法 1 1 条に規定する開示決定等の期限の特例を適用し、まず、令和 6 年 5 月 2 7 日付け防官文第 1 2 4 6 4 号により、本件対象文書のうち、文書 1 (1 枚目のみ。) について、法 5 条 3 号に該当する部分を不開示とする一部開示決定処分 (原処分 1) を行った後、同年 1 0 月 1 1 日付け同第 2 3 2 8 3 号により、本件対象文書のうち、文書 1 ないし文書 1 4 (文書 1 の 1 枚目を除く。) について、法 5 条 3 号に該当する部分を不開示とする一部開示決定処分 (原処分 3) を行った。

本件審査請求は、原処分 1 及び原処分 3 に対して提起されたものであり、本件諮問に当たっては、それらの審査請求を併合し諮問する。

(2) 原処分 2 及び原処分 4 について

本件開示請求は、本件請求文書 2 の開示を求めるものであり、これに該当する行政文書として、文書 1 ないし文書 3 2 (文書 1 の 1 枚目を除く。) を特定した。

本件開示請求については、法 1 1 条に規定する開示決定等の期限の特例を適用し、まず、令和 6 年 8 月 2 日付け防官文第 1 7 8 6 6 号により、本件対象文書のうち、文書 1 5 (1 枚目のみ。) について、法 5 条 3 号に該当する部分を不開示とする一部開示決定処分 (原処分 2) を行った

後、同年１０月１１日付け同第２３２８４号により、本件対象文書のうち、文書１ないし文書３２（文書１及び文書１５のそれぞれ１枚目を除く。）について、法５条３号に該当する部分を不開示とする一部開示決定処分（原処分４）を行った。

本件審査請求は、原処分２及び原処分４に対して提起されたものであり、本件諮問に当たっては、それらの審査請求を併合し諮問する。

（３）原処分５について

本件開示請求は、本件請求文書３の開示を求めるものであり、これに該当する行政文書として、文書１ないし文書５０（文書１及び文書１５のそれぞれ１枚目を除く。）を特定し、令和６年１０月１１日付け防官文第２３２９６号により、法５条３号に該当する部分を不開示とする一部開示決定処分（原処分５）を行った。

本件審査請求は、原処分５に対して提起されたものである。

２ 法５条該当性について

原処分において、不開示とした部分及び不開示とした理由は、別表のとおりであり、本件対象文書のうち、法５条３号に該当する部分を不開示とした。

３ 審査請求人の主張について

（１）原処分１及び原処分３について

ア ないしウ （略）

エ 審査請求人は、「一部に対する不開示決定の取消し」として、支障が生じない部分について開示を求めるが、原処分１及び原処分３においては、本件対象文書の法５条該当性を十分に検討した結果、上記２のとおり、本件対象文書の一部が同条３号に該当することから当該部分を不開示としたものであり、その他の部分については開示している。

オ ないしク （略）

ケ 審査請求人は、「他に文書がないか確認を求める」としているが、本件対象文書のほかに本件開示請求に係る行政文書は保有していない。

コ 以上のことから、審査請求人の主張にはいずれも理由がなく、原処分１及び原処分３を維持することが妥当である。

（２）原処分２及び原処分４について

ア ないしウ （略）

エ 上記（１）エと同旨（ただし、「原処分１及び原処分３」とあるのは「原処分２及び原処分４」と読み替える。）。

オ ないしキ （略）

ク 上記（１）ケと同旨。

ケ （略）

コ 上記（１）コと同旨（ただし、「原処分１及び原処分３」とあるの

は「原処分 2 及び原処分 4」と読み替える。) 。

(3) 原処分 5 について

ア ないしウ (略)

エ 上記 (1) エと同旨 (ただし、「原処分 1 及び原処分 3」とあるのは「原処分 5」と読み替える。) 。

オ及びカ (略)

キ 上記 (1) ケと同旨。

ク (略)

ケ 上記 (1) コと同旨 (ただし、「原処分 1 及び原処分 3」とあるのは「原処分 5」と読み替える。) 。

第 4 調査審議の経過

当審査会は、本件各諮問事件について、以下のとおり、併合し、調査審議を行った。

- ① 令和 7 年 1 月 9 日 諮問の受理 (令和 7 年 (行情) 諮問第 2 3 号ないし同第 2 5 号)
- ② 同日 諮問庁から理由説明書を収受 (同上)
- ③ 同月 3 1 日 審議 (同上)
- ④ 同年 1 2 月 2 2 日 令和 7 年 (行情) 諮問第 2 3 号ないし同第 2 5 号の併合、本件対象文書の見分及び審議

第 5 審査会の判断の理由

1 本件各開示請求について

本件各開示請求は、本件請求文書の開示を求めるものであり、処分庁は、本件対象文書を特定し、その一部を法 5 条 3 号に該当するとして不開示とする原処分を行った。

これに対し、審査請求人は、文書の追加特定及び不開示部分の開示等を求めており、諮問庁は、原処分を維持することが妥当としていることから、以下、本件対象文書の見分結果を踏まえ、本件対象文書の特定の妥当性及び不開示部分の不開示情報該当性について検討する。

2 本件対象文書の特定の妥当性について

(1) 本件対象文書の特定について、当審査会事務局職員をして諮問庁に確認させたところ、次のとおりであった。

ア 本件各開示請求については、いずれも「ロシア軍の編成・装備・作戦・戦闘に関して行政文書ファイルに綴られた文書」の開示を求めている点で共通しており、各開示請求の対象とする文書の範囲を踏まえて別紙の 3 のとおり本件対象文書を特定した。

イ 本件対象文書の外に本件請求文書に該当する文書は作成・取得しておらず、保有していない。

ウ 本件各審査請求を受け、関係部署において改めて探索を行ったが、

本件対象文書の外に本件請求文書に該当する行政文書の保有は確認できなかった。

- (2) これを検討するに、本件対象文書の特定方法に問題はなく、探索状況を踏まえると、本件対象文書の外に本件請求文書に該当する文書は保有していないとする諮問庁の上記(1)の説明に不自然、不合理な点は認められない。

他に本件請求文書に該当する文書の存在をうかがわせる事情も認められないことからすると、防衛省において、本件対象文書の外に各開示請求の対象として特定すべき文書を保有しているとは認められないので、本件対象文書を特定したことは妥当である。

3 不開示部分の不開示情報該当性について

別表に掲げる不開示部分には、防衛省・自衛隊が活動の資とするために収集・処理した情報が記載されていると認められる。

当該部分は、これを公にすることにより、防衛省・自衛隊の情報の収集・分析能力、情報関心及び情報業務の運用要領等が明らかとなり、害意を有する相手方がその弱点をついた行動を採ることが可能となるなど、防衛省・自衛隊の任務の効果的な遂行に支障を生じさせ、ひいては国の安全が害されるおそれがあると行政機関の長が認めることにつき相当の理由があると認められるので、法5条3号に該当し、不開示としたことは妥当である。

4 審査請求人のその他の主張について

審査請求人のその他の主張は、当審査会の上記判断を左右するものではない。

5 本件各一部開示決定の妥当性について

以上のことから、本件請求文書の各開示請求に対し、本件対象文書を特定し、その一部を法5条3号に該当するとして不開示とした各決定については、防衛省において、本件対象文書の外に各開示請求の対象として特定すべき文書を保有しているとは認められないので、本件対象文書を特定したことは妥当であり、不開示とされた部分は、同号に該当すると認められるので、不開示としたことは妥当であると判断した。

(第4部会)

委員 白井幸夫、委員 田村達久、委員 野田 崇

別紙

1 本件請求文書

(1) 本件請求文書 1 (諮問第 23 号)

ロシア軍の編成・装備・作戦・戦闘に関して行政文書ファイルに綴られた文書の全てのうち 2024. 2. 6 一本本 B 2280 で特定された後に綴られた文書の全て (ただし「2022 年度各国データ (ロシア)」【及び当該文書の 2023 年度版以降】は除く)。

(2) 本件請求文書 2 (諮問第 24 号)

ロシア軍の編成・装備・作戦・戦闘に関して行政文書ファイルに綴られた文書の全てのうち防官文第 12464 号 (2024. 3. 26 一本本 B 2663) で残りの部分とされた全て、及び 2024. 3. 26 一本本 B 2663 で特定された後に綴られた文書の全て (ただし「2022 年度各国データ (ロシア)」【及び当該文書の 2023 年度版以降】は除く)。

(3) 本件請求文書 3 (諮問第 25 号)

ロシア軍の編成・装備・作戦・戦闘に関して行政文書ファイルに綴られた文書の全てのうち防官文第 17866 号 (2024. 6. 4 一本本 B 384) で残りの部分とされた全て、及び 2024. 6. 4 一本本 B 384 で特定された後に綴られた文書の全て (ただし「2022 年度各国データ (ロシア)」【及び当該文書の 2023 年度版以降】は除く)。

2 本件対象文書

文書 1 最近のロシア・CIS トピック (2024. 2. 2～2024. 2. 8) (基礎資料 24-0094 令和 6 年 2 月 20 日)

文書 2 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 2 月 8 日 防衛省

文書 3 ロシアによるウクライナ侵略の状況

文書 4 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 2 月 9 日 防衛省

文書 5 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 2 月 15 日 防衛省

文書 6 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 2 月 19 日 防衛省

文書 7 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 2 月 28 日 防衛省

文書 8 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 3 月 6 日 防衛省

文書 9 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 3 月 12 日 防衛省

文書 10 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 3 月 13 日 防衛省

文書 11 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 3 月 19 日 防衛省

文書 12 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 3 月 26 日 防衛省

文書 13 露軍が新型手榴弾をウクライナ戦線に投入 (カレント分析 24-0104 令和 6 年 2 月 13 日)

文書 14 最近のロシア・CIS トピック (2024. 3. 1～2024.

3. 7) (基礎資料 24-0183 令和6年3月26日)
- 文書15 最近のロシア・CISトピック (2024. 4. 5～2024. 4. 11) (基礎資料 24-0273 令和6年4月24日)
- 文書16 ロシアによるウクライナ侵略 令和6年4月3日 防衛省
- 文書17 ロシアによるウクライナ侵略 令和6年4月5日 防衛省
- 文書18 ロシアによるウクライナ侵略 令和6年4月10日 防衛省
- 文書19 ロシアによるウクライナ侵略 令和6年4月17日 防衛省
- ①
- 文書20 ロシアによるウクライナ侵略 令和6年4月17日 防衛省
- ②
- 文書21 ロシアによるウクライナ侵略 令和6年5月2日 防衛省
- 文書22 ロシアによるウクライナ侵略 令和6年5月10日 防衛省
- 文書23 ロシアによるウクライナ侵略 令和6年5月17日 防衛省
- ①
- 文書24 ロシアによるウクライナ侵略 令和6年5月17日 防衛省
- ②
- 文書25 ロシアによるウクライナ侵略 令和6年5月24日 防衛省
- 文書26 ロシアによるウクライナ侵略 令和6年5月30日 防衛省
- 文書27 最近のロシア・CISトピック (2024. 3. 22～2024. 3. 28) (基礎資料 24-0231 令和6年4月12日)
- 文書28 令和5年度ロシア・ウクライナ情勢調査 (ルーマニア・リトアニア出張報告) (情報資料 24-017 令和6年4月26日)
- 文書29 軍事大国でない国家のためのウクライナ戦争の教訓に関する米シンクタンク掲載の論説～西側大国が想定してきた従来型戦争を前提としたアプローチの誤り～ (基礎資料 24-0310 令和6年5月10日)
- 文書30 最近のロシア・CISトピック (2024. 4. 19～2024. 4. 25) (基礎資料 24-0322 令和6年5月16日)
- 文書31 最近のロシア・CISトピック (2024. 4. 26～2024. 5. 9) (基礎資料 24-0372 令和6年5月29日)
- 文書32 最近のロシア・CISトピック (2024. 5. 10～2024. 5. 16) (基礎資料 24-0386 令和6年6月4日)
- 文書33 ロシアによるウクライナ侵略 令和6年6月6日 防衛省
- 文書34 ロシアによるウクライナ侵略 令和6年6月14日 防衛省
- 文書35 ロシアによるウクライナ侵略 令和6年6月17日 防衛省
- 文書36 ロシアによるウクライナ侵略 令和6年6月21日 防衛省

文書 37 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 6 月 28 日 防衛省
 文書 38 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 7 月 3 日 防衛省
 文書 39 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 7 月 10 日 防衛省
 文書 40 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 7 月 12 日 防衛省
 文書 41 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 7 月 19 日 防衛省
 文書 42 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 7 月 26 日 防衛省
 文書 43 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 8 月 2 日 防衛省
 文書 44 ロシアによるウクライナ侵略 令和 6 年 8 月 9 日 防衛省
 文書 45 最近のロシア・C I S トピック（2024. 5. 17～2024. 5. 23）（基礎資料 24－0442 令和 6 年 6 月 18 日）
 文書 46 最近のロシア・C I S トピック（2024. 5. 24～2024. 5. 30）（基礎資料 24－0468 令和 6 年 6 月 26 日）
 文書 47 最近のロシア・C I S トピック（2024. 7. 5～2024. 7. 11）（基礎資料 24－0555 令和 6 年 7 月 24 日）
 文書 48 最近のロシア・C I S トピック（2024. 7. 12～2024. 7. 18）（基礎資料 24－0570 令和 6 年 7 月 29 日）
 文書 49 最近のロシア・C I S トピック（2024. 7. 19～2024. 7. 25）（基礎資料 24－0579 令和 6 年 7 月 31 日）
 文書 50 最近のロシア・C I S トピック（2024. 7. 26～2024. 8. 1）（基礎資料 24－0604 令和 6 年 8 月 7 日）

3 各開示請求の対象として特定された本件対象文書

（1）本件請求文書 1 の対象として特定された文書

ア 原処分 1

文書 1（1 枚目のみ。）

イ 原処分 3

文書 1 ないし文書 14（文書 1 の 1 枚目を除く。）

（2）本件請求文書 2 の対象として特定された文書

ア 原処分 2

文書 15（1 枚目のみ。）

イ 原処分 4

文書 1 ないし文書 32（文書 1 及び文書 15 のそれぞれ 1 枚目を除く。）

（3）本件請求文書 3 の対象として特定された文書（原処分 5）

文書 1 ないし文書 5 0（文書 1 及び文書 1 5 のそれぞれ 1 枚目を除く。）

別表

本件対象文書	不開示とした部分	不開示とした理由
文書 1	1 枚目の一部	防衛省・自衛隊がその活動の資とするために収集・処理した情報であり、これを公にすることにより、防衛省・自衛隊の情報関心、情報分析能力が推察され、防衛省・自衛隊の任務の効果的な遂行に支障を及ぼし、ひいては我が国の安全が害されるおそれがあることから、法 5 条 3 号に該当するため不開示とした。
	全て（1 枚目を除く。）	
文書 1 3	1 枚目の一部	
	2 枚目の全て	
文書 1 4	1 枚目の一部	
	2 枚目ないし 2 1 枚目のそれぞれ全て	
文書 1 5	1 枚目の一部	
	全て（1 枚目を除く。）	
文書 2 7	1 枚目の一部	
	2 枚目ないし 1 7 枚目のそれぞれ全て	
文書 2 8	1 枚目の一部	
	2 枚目ないし 4 8 枚目のそれぞれ全て	
文書 2 9	2 枚目の一部	
文書 3 0	1 枚目の一部	
	2 枚目ないし 1 0 枚目のそれぞれ全て	
文書 3 1	1 枚目の一部	
	2 枚目ないし 2 8 枚目のそれぞれ全て	
文書 3 2	1 枚目の一部	
	2 枚目ないし 1 2 枚目のそれぞれ全て	
文書 4 5	1 枚目ないし 1 0 枚目のそれぞれ全て	
文書 4 6	1 枚目の一部	
	2 枚目ないし 1 5 枚目のそれぞれ全て	
文書 4 7	1 枚目の一部	
	2 枚目ないし 1 8 枚目のそれぞれ全て	
文書 4 8	1 枚目の一部	
	2 枚目ないし 1 2 枚目のそれぞれ全て	
文書 4 9	1 枚目の一部	
	2 枚目ないし 1 4 枚目のそれぞれ全て	
文書 5 0	1 枚目の一部	
	2 枚目ないし 1 5 枚目のそれぞれ全て	

※当審査会事務局において整理した。

※各文書の枚数の表記は、当該行政文書全体の枚数を記載している。